

会 議 録

会議の名称	第6回白岡市まち・ひと・しごと創生有識者会議
開催日時	平成28年1月26日(火) 18:00~19:10
開催場所	白岡市保健福祉総合センター(はぴすしらおか)会議室6・7
委員長等	委員長 佐々木 操 副委員長 熊坂敏彦
出席者(出席委員)の氏名・出席者数	熊坂敏彦、大橋 登、中村輝久、五十嵐泰子、西村恵子、佐々木 操、高橋道禎、高橋純悦、小林伸子、佐藤弘子、島村 隆、安藤貴徳、橋本正秀、細井宣雄 ※出席者: 14名
欠席者(欠席委員)の氏名・欠席者数	石塚昭仁、岩上陽子 ※欠席者: 2名
説明員の職・氏名	企画政策課創生戦略室 室長 白田 進、主幹 千葉智則、主査 濱田貴央
事務局職員の職・氏名	企画政策課長 八木橋昌美 企画政策課創生戦略室 室長 白田 進、主幹 千葉智則、主査 濱田貴央
その他会議出席者の職・氏名	白岡市 副市長 秋葉清一郎、総合政策部長 笠原英之 株)ジャパンインターナショナル総合研究所 竹澤慎太郎
傍聴者数	4人
会議次第	別添のとおり
配布資料	資料1 パブリックコメントの結果について 資料2 今後の予定について

(会議の経過)

発 言 者	発言内容・決定事項等
委員長 副市長	1 開会 2 あいさつ ～ 佐々木委員長より挨拶 ～ ～ 秋葉副市長より挨拶 ～
事務局	(会議の公開について説明)
委員長	次第3の(1)「パブリックコメントの結果について」、事務局より説明をお願いします。
事務局	3 議題 (1) パブリックコメントの結果について (資料1、別紙1、別紙2について説明)
委員長	ただ今の説明について、ご意見がありましたらお願いします。
A委員	パブコメに関する意見が3つ出ていますが、非常に厳しい声で「今まで農業を何もやってこないで失敗」、「工業の結果はなし」というご意見です。何をもってこういう意見を出しているのかわかりませんが、批判だけでは何も起こりません。将来、自治体間競争に負けない強い地方自治体をつくることを考えると、現状の批判だけではなく、先を見て、合計特殊出生率を2.07にするような施策を講じて市が取り組んでいくとのことなので、このまま策定していただきたいと思います。
委員長	他にございますか。よろしいですか。 この内容で、修正無しということで、ご理解・ご承諾いただきたいと思います。 では、議題(2)「今後の予定について」、説明をお願いします。
事務局	(2) 今後の予定について (資料2について説明)
委員長	ただ今の説明について、ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。 よろしいですか。他にないようですので次に進みます。 (3) その他

(会議の経過)

委員長	(3)「その他」について、事務局から何かございますか。
事務局	特にありません。
委員長	事務局からはないようです。 時間もありますので、委員の皆様から「人口ビジョン」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の作成に関わりました感想などをお伺いしたいと思います。
A 委員	長い行政経験の中で、総合振興計画を担当させていただいたこともありますが、市民意識調査を基に目指すべき将来像などを決めていくということは、非常に難しいです。総合振興計画も10年後の将来人口も予測なので、どこの市町の総合振興計画を見ても、人口問題研究所やその他の方法で算定しています。 先ほど、パブコメに対する意見を述べましたが、自治体が国の施策に基づくのは当然で、白岡だけ独自で地方自治を定めるのは非常に厳しいものがあります。確かに、農業では減反ということで矛盾しており、商業についても「全く取り組まない」という記載がありました。工業は、全くやっていないことはなく、埼玉県が企業誘致に動き、市もセールスに取り組んだりしています。のりあい交通については、昔、市内循環バスをやっていましたが利用者が少なく、その後、のりあい交通が出来上がったのです。市民協働については、昔から地域コミュニティの中で自治体と一緒にやられてきたことなのです。 今、行政から外へ出て、観光協会という立場で市民と一緒にいろいろな活動をする中で、この会議で計画を見たときに、市民の方が寸暇を惜しんで、一生懸命いろいろなイベントに参加して手伝っていただけるありがたみをつくづく感じています。また計画の策定に参加できれば、いろいろな意見を述べさせていただいて、お役に立てればと思います。
B 委員	産業振興、商工振興に携わる者として会議に参加させていただき、いろいろなご意見を拝聴する中で、今後、商工会としてどのように取り組んでいくかという指標になる感じがして感謝いたします。今後も参加させていただく機会がございましたら、ぜひ、よろしくお願いします。 パブリックコメントで、商業を全くやっていないような表現があったり、工業はないという表現もありましたが、地元の商工会として、市役所や県と協力して、可能な限り産業振興を進めていこうとしています。これは商工会側の情報発信が弱いと理解しまして、今まで以上に市民の皆様へ情報を発信し、市民のお力も頂きながら発展させて、再び住みよさ県下一を取れるような白岡市になっていただきますように、商工会としても努力をしていきたいと考えています。
C 委員	子育て支援のボランティアをやっている中、お母さんたちが育児に悩むこともあるという意見を会議で述べましたが、「地域に根差した子育てしやすいまち」、「住みよいまち」ということで、地域に合ったものをしていけたらと思っています。

(会議の経過)

D委員	<p>いろいろ勉強させていただいて、ありがとうございました。</p> <p>私も本当に勉強させていただきましたという一言に尽きます。</p> <p>P T Aという立場で、ボランティアの人たちからいかに協力をいただくかが毎年の課題で、大変な中やっていますが、私たち保護者には、子どもがより良い環境で学校生活を送れることが一番大切なことです。そのために、市のほうに意見をさせていただきながら、今後も活動していきたいと思います。</p> <p>今回、会議に参加させていただいて、この先考えていかなければいけないことがたくさんあることをあらためて知りました。子どもの卒業でP T Aからは外れますが、このような会議があるということを入念に入れて、違った形で今後も活動させていただきたいと思います。</p>
F委員	<p>初めてこういう会に参加しましたが、十人いれば意見は全員違うのだなと、立場の違いでこれだけ意見が出るのだなと感じました。</p> <p>農家の立場から参加させていただきましたが、非常に難しい事案ばかりだと感じました。人口ビジョンでも、国の人口が減っている中、自治体で増やすのは非常に難しいと思いますし、具体例を出せと言われても出るものではなく、出ていけばこんなに人口が減ることはないと思います。島国なので、そういうのは仕方ないと思っていました。</p> <p>また、自治体の方と一般の人の考えは、すごく差があると感じました。私たち市民は、具体的に目で見えて、すぐ結果が分かることを要求しますが、市は予算や、いろいろな立場から考えていかなければいけない。この立場の違いで難しい話になってしまい、ちょっとしたことを決めるのにも十人十色の考えや、いろいろな角度からの見方があって、1つにまとめることは、まずないと感じました。</p> <p>まち・ひと・しごとの話も同じで、市民からは「今日決めたことを明日、結果を出してください」「結果が出ないと分からない」「あなたたち何をやっているのですか」と言われますが、結果を出すことの難しさは、どの業種でも同じだと思います。</p> <p>農業は、補助金で助けてもらって運営していると思われているようですが、補助金で成り立っている農家はいません。大きくなればなるほど、つぶれる農家が多いです。国が何もやっていないわけではありませんが、農業にはどれが成功の結果かというものが無いので、何年も話し合いをして結果を求めただけだと無理だと感じました。理想を追って成功すればいいのですが、理想は高く持たなければいけないので、目先のことだけでやろうとすると、全てが失敗になるという感じもしました。</p> <p>また、行政は言葉を選びながら大変な作業をしているということも分かりました。このビジョンを大学4年の息子に読ませたら、なぜこんなに難しい言葉を使うのだろう、さっぱり分からないと、普通の人が見ても理解できる人はほとんどいないのではないかと言いました。娘も同じで、さっぱり分からないと言いました。</p>

(会議の経過)

G 委員	<p>でもこれが、行政が不特定多数の皆さんに公表するための文章なのだということです。これだけ行政が気を遣って作らなければ、ちょっとした言葉でも指摘をされるし、非常に難しいのだなと感じました。</p> <p>この会議に携わって、行政の難しさ、市民からの意見を出すことの難しさ、決定する難しさをすごく感じました。私はこれから農業でいろいろなことをやっていきたいと思っていますし、市と協働で食育を子どもたちなどの市民に広げられるように努力していきたいと感じました。ありがとうございました。</p> <p>この会では企業から参加させていただいて、一企業の一担当としてなかなか意見が言えなかったこともあります。参加させていただいてありがたかったと思っています。</p> <p>仕事では、海外から受注をいただきながら頑張っています。市は、町から市に変わってどんどん大きくなろうとしています。まちだけ、仕事だけ発展するのではなくて、人が一番重要なのだと思います。</p> <p>市が人に着目して努力していただいているのは一企業としてありがたく、仕事があっても人がいないものはつくれないので、まち、人、仕事のどれが欠けても駄目だと思います。きれいな丸をもってどんどん伸びていけば、いい市になると思います。</p> <p>これからも企業として協力したいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
H 委員	<p>教育の立場から参加させていただきましたが、愛育会、町ぐるみの方たち、白岡市の市P連の方たちに育てていただいたお子さんたちを預かって、今年の3年生もセンター試験を受けている子以外は、大成ラミックやハローワークにもお世話になって、100%就職が決まってほっとしています。</p> <p>白岡高校で学校教育をやる中で、観光協会、商工会など、地域の方に大変お世話になりました。学警連という警察との会議では、白岡市は非常に落ち着いていて非行が少ないということです。そういう市を育てていく土壌があることを白岡市の方たちが、もっと誇りを持っていいのではないかと考えています。子育てのところが一番の基本なので、子どもたちがいったん外に出たとしても、また戻ってきてくれる白岡市であれば、まち・ひと・しごとということやっていけるのではないかと考えています。</p> <p>規模的にも、みんなで子どもたちを育てて大人にしていけるというありがたい規模なのですが、人口がどんどん下がっていくと大変なので、この会議の中でたくさんの方からいただいた意見を出して、素晴らしい住みよいまちであり続けていただきたいと強く思っています。</p> <p>学校も学校評価の中で厳しいご意見をいただきますが、その意見をどう生かしていくかというのは行政の方も同じだと思いますので、ぜひ、素晴らしい子育てのまち白岡ということやっていただければありがたいと思います。</p>
I 委員	<p>このような会議に参加させていただいてありがとうございました。あまり有効な</p>

J 委員	<p>意見が出せなかったところもありますが、意見を重ねながら総合戦略が出来上がって、これを基に事業計画を進めていくこれからがスタートで、まさにこれからが銀行の出番だと思っています。</p> <p>ノウハウがないという意見も出ていましたが、これから新しく始めようとする事なのでノウハウがなくて当たり前ですので、それを埋めるためにいろいろな機関と連携していくことが必要になってくると思います。市民の方の意見もその中で聞きながら進めていかれると思いますので、そこら辺はこれからのところと考えています。</p> <p>企画政策課の担当の方にもお話ししていますが、銀行の中の「まち・ひと・しごと創生協議会」で、「地方創生に向けた埼玉りそな銀行の個別提案メニュー」ということで、「総合戦略の具体化と施策実現に向けて」という提案メニューがございます。この中に、例えば定住促進、6次産業化、協働のまちづくり、教育、子育てなど、今まで議論してきてこれから事業計画を進めていくいろいろなテーマに沿って、弊社の機能を使う部分、関係会社を使う部分、外部の機能を使う部分など連携を取れるところが幅広くありますので、そういうことを活用しながら、地元金融機関として、情報交換をしながら協力して進めていければと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。</p> <p>1年間ありがとうございました。見えてこないのは、国のためにやっているように聞こえて、市民のためにやっているというインパクトが弱いからではないかと思えます。家でも「便利な家の追求」と「住みよい家の追求」が違うように、まちも、市民が自分のまちだという認識を持るといいまちになると思えます。総合戦略や人口ビジョンを子どもたちに読ませると意味が分からないと言いますが、思いは伝わります。なぜかという、春日部市は30年前にロビンソンを誘致していたのに、5年前にイオンの誘致をしてロビンソンがつぶれてもめています。子どもたちは新聞を読まないの、親が説明してあげないとなぜだか分からないのです。</p> <p>このように、「誰のために」ということで、障害を持った弱い人のために求人を出してくださいという意志が伝われば、雇っていただけるのです。だから、市民のためにという目的の部分でインパクトが弱いのではないかと感じます。</p> <p>他市の取り組み方の表現で、例えば幸手市は、3世代で家を建てたら〇万円払いますというように金額が出ていますので、他市のホームページを見ていただくと面白い自治体もありますので、少しそういう感じを入れたほうが良かったかなと思います。</p> <p>今年は、秋葉副市長にも参加していただいて、ここで初めて白岡市の合同面接会をやって、多数の方が来られて30人近くの採用が決まっています、やっていないわけではないので、市民のためにやっているというPRを分かりやすい表現で出していくとこういう批判もなかったのではないかという気がします。</p> <p>来年度から現実に移していくので、ハローワークもできる限り協力したいと思っていますので、よろしく願い申し上げます。</p>
------	---

(会議の経過)

K委員	<p>1年間お疲れさまでした。利根管内で幾つかの会議に関わらせてもらっていますが、同じような課題を持っている自治体が多いです。私の感想としては、白岡市の戦略は、管内の他の市町とは若干構成が違って、独自のところがあって面白いな、よくできたなと思っています。</p> <p>副市長やI委員から連携の話が出ましたが、市単独では難しいところも、若者に元気が出るような、自治体間で連携することで補うことができると思います。実施計画が重要になってきますので、これからが本番だと思います。よろしくお願いいたします。</p>
L委員	<p>先ほど副市長から厳しい日程の問題の話がありましたが、梨づくりのことを非常に気にしておりました。私もそういうことはやっております。終始営業で、私も使用したこともありますので、市のほうで休耕について、少なく減らしたものは、ご支援いただけたら、ありがたいと思います。</p>
O委員	<p>初めて参加させていただきましたが、どういうところで方針案が出されるのかを実際にやってみて、非常に大変だと思いました。</p> <p>この有識者会議に出たいと思ったのは、人口問題は基本的に国がやることですが、それが実際に市町村まできてどうなるのか。どうやったら市民のためにやっているという形での議案が作れるのかを肌で感じたい。また、今まで、議員や市の職員が、自分たちのまちはこうやりたい、ああやりたいということで進んでいますので、それをさらに進めるにはどうすればいいのか。結局、国の求めているところは何なのか。個人的には平成28年度以降の新型交付金の本格実施だと思いますが、それを全部実施するのは大変なので、白岡市の人口や産業を増やしていかなければ対応できないのではないかと思います。</p> <p>これからひとつひとつのことをやるのは大変だと思いますが、抽象論だからこそやれる部分が白岡市の方針にはあると思います。今回、白岡市で高校生のあれが下がって他市から苦情が出たという話も聞いていますが、一般の市町村ではあり得ないことをやったからだ。市民のためにこうしているのだという、大まかな方針の中で市民を守るというところがあると思います。</p> <p>国の方針で、病院のベッド数が県単位で決まるという話が出ていて気にかかっています。市町村で新しい病院をつくらうとした場合、ベッド数がないのでできないということもあり得ます。そういう場合、病院はできなくても診療所はできるのではないかと、他の病院との連絡網は作れるのではないかと、市民のために何が考えられるのかということで、市民を守るための法律、市民のための総合戦略にしていいただければと思います。</p>
委員長	<p>委員の皆さん、ありがとうございました。 熊坂副委員長にまとめをお願いします。</p>

(会議の経過)

熊坂副委員長	<p>副委員長をやらせていただきありがとうございます。こういうものを作り上げるのは歴史的なことで、今回はいろいろな立場の方の知見を生かしていただき、大変勉強になりました。5回の会議では皆さんの熱い議論もあり、今日も感想を聞きながら、いろいろなことを感じた次第です。</p> <p>総論的には、議論を1つの冊子に作り上げるのは難しかったと思いますが、皆さんの意見が反映されていましたし、首都圏の中でベッドタウンとして成長して町から市になった白岡市が、このままでは人口ビジョンにあるように衰退して空洞化してしまうということを市民として共有して、そこから総合計画を作っていく議論は、大事な議論だったと思います。</p> <p>その中で、白岡市のベッドタウンとしての成長性や都市農業ができる地理的な優位性のある地域として、農業や6次産業化、事業化、大学との連携をするということが方向性として出てきたので、大変いいものができたかと感じています。</p> <p>市の総合振興計画との整合性を連動させながら、今年4月からの5カ年計画で、首都圏の都市間競争に勝ち残って活気あるまちづくりをするために、できるだけ早めに総合戦略の施策に着手していきたいと思います。</p> <p>私は外部の専門委員の立場でしたが、専修大学で若い人と接しながら産業を勉強したり、昭和女子大学の研究所では、大人の社会人の人と非常食の研究をしたりしていますし、食についてリスクマネジメントをする研究会にも入っています。また、女子学生と地域の産業の研究をしていますので、私も応援団の1人として、微力ながら白岡市の総合戦略推進のためにお役に立ちたいと思います。</p> <p>この委員の皆さんや市役所の方とのご縁を大事にしていきたいと思います。ありがとうございました。</p>
委員長	<p>他にご意見はございますか。よろしいですか。</p> <p>それでは、本日の議事は全て終了いたしました。</p>
企画政策課長	<p>佐々木委員長、ありがとうございました。</p> <p>総合政策部長より、お礼を申し上げます。</p>
総合政策部長	<p>第6回まち・ひと・しごと創生有識者会議にご参加いただきまして、ありがとうございます。引き続き進捗状況の会ということ踏まえて、皆様にご意見を頂きたいと考えています。</p> <p>先ほどご意見があったとおり、直していくところは直して行って、まち・ひと・しごとの総合戦略においても、連携、コラボレーションをテーマに、積極的に取り組みたいと考えています。応援、また厳しい批判もお受けしますので、ぜひご協力いただければと思います。</p>
熊坂副委員長	<p>4 閉会</p> <p>～熊坂副委員長より挨拶～</p> <p style="text-align: right;">以上</p>